

エコアクション21

環境活動レポート

(2017年11月1日～2018年10月31日)



発行 2019年1月31日



目次

1. 組織の概要
2. 環境方針
3. 中長期環境目標（全社）
4. 環境目標とその実績
5. 環境活動計画及びその取組結果と評価・次年度の取組
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
7. その他の取組
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者氏名

株式会社 オオスミ

代表取締役 大角 武志



(2) 所在地（認証・登録範囲）

本 社 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17

TEL：045-924-1050（代）

FAX：045-924-1055

東京支店 東京都千代田区神田猿樂町二丁目1番14号

川崎支店 川崎市川崎区小田一丁目10番10号

大和支店 大和市福田2丁目25番地1

福島支店 福島県郡山市富田町字稲川原67番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 山口 弘道

TEL：045-924-1050

FAX：045-924-1055

e-mail：h.yamaguchi@o-smi.co.jp

(4) 事業の規模

資本金：3,000万円

売上高：14億4千万円

（2018年度：2017年11月1日～2018年10月31日）

工事の件数：0件

従業員：126名

(5) 事業活動の内容

環境分析・測定・調査及び企画・コンサルティング、工業薬品販売
 建設工事(汚染土壌除去工事、アスベスト除去工事)

URL : <http://www.o-smi.co.jp>

私たちは地球環境を見守るプロフェッショナルです。

調査、測定、分析、コンサルティング、対策。
 確かなプロセスを踏み、あらゆる環境問題への答えを探ります。



膨大なソリューションで、地球環境を見守ります。

5つの「事業分野」に対し、「企画提案、セミナー、コンサル」
 「調査、測定、分析」「対策、工事、販売」という3つの段階でアプローチ可能です。

A	環境保全事業	水、土壌、大気、騒音・振動、アスベスト、PCB等
B	労働安全衛生型環境事業	作業環境測定、個人暴露測定等
C	エネルギーソリューション	地球温暖化対策、省エネ診断等
D	製品・材料試験事業	材料・異物分析、受託・研究、ゆあらぼ、こらぼ等
E	環境関連商品等販売事業	化学工業薬品、環境関連商品、省エネ対策商品等



2. 環境方針

オオスミ環境方針

1. 私たちは使命として、「私たちは 地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」を掲げ、環境にかかわる調査・測定・分析およびコンサルティングの仕事をしています。私たちは、私たち自身の仕事の開拓や拡大は直接あるいは間接にお客様の環境負荷の低減や地球環境の保全に寄与すると認識し行動します。
2. 私たちが環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減をはかっていくことは、私たちの事業運営の大前提であると認識します。私たちは次の事項に取組み、環境目的・目標を定め、マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
 - ① 取扱う化学物質等の適正な管理
 - ② 廃棄物の適正な管理
 - ③ 資源の効率的利用と3 R (Reduce、Reuse、Recycle) の推進
 - ④ 排水処理設備の円滑な運用
 - ⑤ エネルギー使用の効率化による CO2 排出量の抑制
 - ⑥ グリーン購入の推進
 - ⑦ 建設現場での環境負荷の低減
3. 私たちは、各自が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。

2016年7月11日

株式会社オオスミ

代表取締役 大角 武志



OSUMI
私たちは地球のドクター

3. 中長期環境目標（全社）

環境目標	2018年度（50期）	2019年度（51期）	2020年度（52期）
	2017年11月～2018年10月	2018年11月～2019年10月	2019年11月～2020年10月
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大(全社計画100%遂行)	100%	100%	100%
	(1,680百万円)	(1,680百万円)	
1-(2)「省エネ」計画100%遂行	100%	100%	100%
	(45百万円)	(70百万円) ※「環境部長」を含む	
2-(1)化学物質の適正管理	分析内容ごとに化学物質の使用量は決められているため、削減目標数値は設定せず適正管理活動の計画を目標とする。		
2-(2)廃棄物の適正管理	当社は環境計量証明業であり、分析に必要な量を減らす目標設定は合理性を欠くため、適正管理活動の計画を目標とする。		
2-(3)-①紙の使用量の削減	基準年（49期実績） 1%削減	前年度目標1%削減	前年度目標1%削減
	6,534 kg	6,469 kg	6,404 kg
2-(3)-②水使用量の削減	2,600 m ³	2,733 m ³ ※48期実績の3%削減へ修正	2,704 m ³ ※48期実績4%削減へ修正
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」
2-(5)CO ₂ 削減	326,202 kg-CO ₂	322,940 kg-CO ₂	319,711 kg-CO ₂
2-(5)-①電力使用量の削減	477,418 kWh	472,643 kWh	467,917 kWh
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	1,822 Nm ³	1,803 Nm ³	1,785 Nm ³
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	32,846 L	32,518 L	32,193 L
2-(5)-④軽油使用量の削減	5,693 L	5,636 L	5,579 L
2-(6)グリーン購入の推進	65 %	66 %	67 %
3.環境に関する取組の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・エコ活動の継続 ・エコキャップ／古切手等回収活動 ・社会貢献活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動への参加 ・環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・客先訪問時のPR実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動への参加 ・環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・客先訪問時のPR実施
4.工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮

備考：購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)（平成27年度）の0.482 kg-CO₂を使用しています。
50期から本社と東京支店を目標合算した数字で運用

4. 環境目標とその実績

環境目標	取組とその評価（2017年11月～2018年10月）		
	目標 2018年度（50期）	実績 2018年度（50期）	達成区分
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大 （全社計画100%遂行）	100%	85.8%	×
	(1,680百万円)	(1,442百万円)	
1-(2)「省エネ」計画100%遂行	100%	33%	×
	(45百万円)	(15百万円)	
2-(1)化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質管理の遂行 試薬管理システムの構築 化学物質のリスクアセスメント勉強会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質管理の遂行中 試薬管理システムの構築検討中 化学物質リスクアセスメント勉強会未実施 	△
2-(2)廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物ステーションを巡回し有害物の漏洩を防止する ゴミ箱の抜き打ち点検 ゴミ分別処理表示をする 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物ステーションを巡回し有害物の漏洩を防止する ゴミ箱の抜き打ち点検 ゴミ分別処理表示済み 	○
2-(3)-①紙の使用量の削減	基準年（49期実績） 1%削減		×
	6,534 kg	6,777 Kg	
2-(3)-②水使用量の削減	2,600 m ³	2,734 m ³	×
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	○
2-(5)CO ₂ 削減	326,202 kg-CO ₂	322,604 kg-CO ₂	○
2-(5)-①電力使用量の削減	477,418 kWh	475,458 kWh	○
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	1,822 Nm ³	2,051 Nm ³	×
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	32,846 L	31,115 L	○
2-(5)-④軽油使用量の削減	5,693 L	5,970 L	×
2-(6)グリーン購入の推進	65 %	60 %	×
3.環境に関する取組の向上	<ul style="list-style-type: none"> ホームページPR 社内外の教育訓練 環境関連施設の見学 エコ活動の継続 エコキャップ / 古切手等 回収活動 社会貢献活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページPR 社内外の教育訓練 環境関連施設の見学 （中部水再生センター、港湾空港技術研究所、宇宙航空研究開発機構） エコ活動の継続 エコキャップ / 古切手等 回収活動 社会貢献活動への参加 	○
4.工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	対象の工事無し	—

備考：購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エネルギーパートナー(株)（平成27年度）の0.482 kg-CO₂を使用しています。

5. 環境活動計画及びその取組結果と評価・次年度の取組

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度の取り組み内容	
1	省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大	各グループ計画の遂行	市況における価格競争が激化し、積極的に案件の獲得を目指したが、目標を下回る結果となった	×	各グループ計画の遂行	
		関係グループでの取組	省エネ診断事業者の増加により、積極的に案件の獲得を目指したが、目標を下回る結果となった	×	関係グループでの取組	
2-(1)	使用化学物質の種類と量の把握及び適正な保管状況の維持	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質管理の遂行 試薬管理システムの構築検討中 化学物質リスクアセスメント勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質管理の遂行中 試薬管理システム構築検討中 化学物質のリスクアセスメント勉強会未実施 	△	<ul style="list-style-type: none"> 危険物倉庫の設置 試薬管理システムの構築 定期的作業環境測定 	
2-(2)	廃棄物の適正管理	産業廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物ステーションを巡回し有害物漏洩を防止する ゴミ箱の抜き打ち点検 ゴミ分別処理表示をする 	活動目標を全て実行	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業系一般廃棄物の定量化 分別の明確化、啓蒙を行う 廃棄物ステーションの3S活動 ゴミの分別徹底
2-(3)	資源の効率的利用	①紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 社内裏紙使用 両面印刷 複数頁印刷 	社内裏紙使用や両面印刷の掲示を印刷機に掲示したが、目標を下回る結果となった	×	<ul style="list-style-type: none"> 無駄を出さない印刷設定の啓蒙・実施 ペーパーレス化に取り組む
		②水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 使用量のグラフ掲示 全体朝礼での報告・日常の節水 	使用量増という結果。原因を究明しようとしたが、未だ不明。目標設定の再検討要。	×	<ul style="list-style-type: none"> トイレの大小使い分けの啓蒙 トイレの1回の水量を減らすための検討を行う 節水に取り組む
2-(4)	排水処理装置の維持・運用	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な排水管理 使用薬品の削減 	定期的な排出処理装置の点検と水質分析によりトラブル『0』で目標を達成	○	<ul style="list-style-type: none"> 下水排除基準超過ゼロ 除害施設内の3S活動 	
2-(5)	排出量の削減	①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド取り付けによる空調の高効率化 採光ブラインド導入検討 遮熱シートの導入検討 	活動目標を全て実行及びエアコン稼働後の温度設定を小まめな調整するにより目標を達成した。	○	<ul style="list-style-type: none"> エアコンの適正な温度調整 診断の検討、実行 デマンド監視 フィルタ/エアコンの清掃等 月1回社員一斉退勤 電子機器の電源管理徹底 エアコン設定温度1℃上げる 実験的に、照明をLEDに変更
		②化石燃料消費量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車両への置換 エコドライブ啓蒙活動 1回あたり複数人乗車による利用 	化石燃料3種は目標未達成。但し、火力が主体である電力使用量が2-(5)①の活動により達成できCO2排出量削減は目標を達成した。	△	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車の導入検討 エコドライブの啓蒙・実施 無駄なアイドリングを無くす啓蒙・実施
		③排出CO2	-	-	-	-
2-(6)	グリーン購入の推進	対象品目の調査と推奨	グリーン購入を推奨したが、対象となる品目が明確かつ徹底できておらず目標未達成。	×	<ul style="list-style-type: none"> グリーン商品マーク選定推奨 購入依頼書の書式変更検討 	
3	環境に関する取組の向上	<ul style="list-style-type: none"> ホームページPR 社内外の教育訓練 環境関連施設の見学 エコ活動の継続 エコキャップ/古切手回収活動 環境配慮ゼミ講師派遣 社会貢献活動への参加 	活動目標を全て実行。また今後、注視されるSDGs等の環境に関するセミナー積極的に参加し情報を入手した。	○	<ul style="list-style-type: none"> ホームページPR 社内外の教育訓練 環境関連施設の見学 社会貢献活動 環境負荷低減設備効果確認 オオスミ風呂敷活用 客先訪問時のPR実施 	
4	工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	対象の工事無し	-	建設現場での環境配慮	

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

凡例：●：該当する ■：努力義務がある ×：該当なし

No	法令名称	判定	管理部署責任者	遵守状況確認・評価		
				チェック日	結果	
1	環境基本法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
2	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	×	分析グループ長	2018/7/31	○	
3	化管法（PRTR法）	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
4	労働安全衛生法	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
		●電離放射線障害防止規則	●	分析グループ長	2018/7/31	○
		●有機溶剤中毒予防規則	●	分析グループ長	2018/7/31	○
		●特定化学物質障害予防規則	●	分析グループ長	2018/7/31	○
5	毒物及び劇物取締法	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
6	消防法	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
	横浜市火災予防条例	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
7	高圧ガス保安法	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
8	フロン排出抑制法	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
9	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
10	エネルギーの使用合理化等に関する法律（省エネ法）	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
11	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	●	総務グループ長 調査第一グループ長 分析グループ長	2018/7/31	○	
12	PCB廃棄物特別措置法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
13	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
14	容器包装リサイクル法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
15	家電リサイクル法	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
16	小型家電リサイクル法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
17	建設リサイクル法	●	調査第一グループ長	2018/7/31	○	
18	食品リサイクル法	×	総務グループ長	2018/7/31	○	
19	自動車リサイクル法 【全車リース使用】	×	総務グループ長	2018/7/31	○	
20	水銀汚染防止法（水銀による環境の汚染の防止に関する法律）	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
21	自動車Nox・PM法	×	総務グループ長	2018/7/31	○	
22	水質汚濁防止法（地下汚染含む）	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
23	下水道法	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2018/7/31	○	
24	騒音規制法	●	総務グループ長	2018/7/31	○	
25	振動規制法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例（振動関係）	2018/7/31	○	
26	悪臭防止法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例（大気関係）	2018/7/31	○	
27	グリーン購入法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
28	電気事業法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	
29	水道法	■	総務グループ長	2018/7/31	○	

7. その他の取組-1



外周清掃

毎週1回本社の外周清掃を実施しています。地域住民の一員として、よりよい環境づくりに貢献したいと考えています。

エコキャップ運動

エコキャップ運動にも積極的に取り組んでいます。2016年3月より活動を開始し、エコキャップ累計約29,640個、ワクチン約58人分になりました。環境負荷低減への取り組みと、社会貢献活動が一体となった大切な活動です。



使用済切手の寄付を行っています



オオスミでは郵便物の使用済切手の回収を行い、「公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会」へ寄贈活動を行っています。収集した切手は、海外の保険医療事情向上のために役立てられています。

グリーンカーテンの設置

夏季の省エネのためグリーンカーテンを設置しています。育った野菜たちは従業員が美味しくいただいています。

グリーンカーテンと巣箱についてはオオスミホームページ内のブログで詳しく紹介しています。



巣箱の設置

本社付近に生息する野鳥のため、巣箱の設置を行っております。主にシジュウカラが巣箱を利用しています。



ビーチクリーン

今年も、公益社団法人かながわ海岸美化財団にオオスミでエントリーし、片瀬東浜でビーチクリーン活動を行いました。当日は、みなで力を合わせてゴミ拾いを行いました。



環境分析の専門技術で社会に貢献するプロボノ活動(専門性を活かしたボランティア活動)を行っています。当社が参画している横浜都心部のまちづくりNPO法人HamaBridge濱橋会の「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」では定期的に水質調査を行い、勉強会で環境調査・分析に関する講演を務めるなど、環境改善の「わ」を広げる活動を行っています。

プロボノ活動 @濱橋会



目黒町公園の清掃活動

本社前にある目黒町公園の草刈りと清掃活動を行っています。ひと月に1週間清掃の週を決め、昼休みの時間を使って活動しております。特に夏の時期には草刈り機も使ってみっちり活動しています！



草刈り成果



まち歩き調査活動！ バリアフリーマップ作成のお手伝い

半蔵門駅付近でNPO法人リーブ・ウィズ・ドリームが行っている既存バリアフリーマップ情報更新のためのまち歩き調査に参加しました。



当日は小雨が降る中、車いすを体験。歩行時には感じていない歩道の傾斜のこわさや段差による苦勞を体験し、マップの存在意義を再認識しながら現地調査を行いました。

7. その他の取組-2

横浜運河パレード～地域住民との交流～

オオスミが参画している、NPO法人 Hamabridge 濱橋会の主催する横浜運河パレードに、プロボノ活動（専門性を活かしたボランティア活動）として参加しました。

大岡川をもっと身近に感じてもらうための生き物観察コーナーやオオスミの得意な環境分析を簡易的に体験できるコーナーなどのブースは、来場者が楽しみながら大岡川的环境と環境分析について学べることを目指しました。

400倍の実体顕微鏡で見るミカヅキモヤブナリアは特に人気で、子供から大人まで興味津々でした！普段は接する機会のない地域住民の方々と交流ができ、自分たちの仕事を一部でも紹介できたことを嬉しく思いました。当日はあいにくの雨模

様でしたが、多くの来場者の方々に訪れてもらいました。



清掃ボランティアSAKURAクリーン作戦2018

オオスミでは、定期的な清掃ボランティア活動を行っています。その一環として、2018年4月8日(日)に代官山エリアのSAKURAクリーン作戦2018に参加しました。中目黒駅をスタート地点として、目黒川兩岸の桜並木を往復し、代官山駅付近までゴミを拾って歩くというイベントです。年度替わりの慌ただしい時期ではありましたが、新入社員5人をはじめ社員16人、社員の家族7人、合わせて23人が集まりました。

目黒川沿いの桜は残念ながら殆ど散ってしまい、人の通りもそれほど多くはありませんでした。

最初のうちはゴミもあまり落ちていないかと思いましたが、注意して探し始めると色々な場所にゴミは隠れているものです。目黒川を離れて代官山駅に向かう頃には、大きなゴミ袋に半分以上集まりました。

私達は都心で仕事をする機会が多いのですが、このような形で新緑の河畔を歩くのは初めてで、非常に気持ちが良い貴重な体験となりました。



CSRプロジェクト



CSR活動は今までも行っていましたが、横浜型地域貢献企業の認定制度に取り組みようとする中で、一緒に働く仲間たちがより働きやすい環境を創るべく、社内の有志とともに「CSRプロジェクト」を結成しました。

プロジェクトでは、1時間単位で有給休暇を取得できる制度や3階テラスを打合せスペースとして活用することを検討し、実際に整備を進めています。

また、社長に伺ったお話ですが、4階食堂をノマドスペースや昼以外にも使えるカフェスペースとして改装し、社員がよりクリエイティブに仕事ができるようにするという構想があるようです。

なお、51期からは全社一斉ノーマルデーの実施や健康セミナーの実施も予定しています。

今後もCSR活動を推進し働きやすい職場を創っていきます。



株式会社オオスミ 東京支店は「東京都 地球温暖化対策 推進事業所」として2016年度から登録されています。

7. その他の取組-3



そのコピー本当に必要ですか？

モノのコピー 1.6円/枚
モノのコピー 7.7円/枚

1枚のコピー用紙使用枚数 約5,100,000枚
CO₂ 21,340,800g
これは森林CO₂吸収量 1,524本 18日間吸収します

①用紙のコピーレイアウト工夫で裏も読みも削減しましょう！
②ボタンを押す前に、再度原文を確認しましょう！

水使用量の削減を目的に、男女のトイレ全てに**トイレの音けし機**を設置しました。ボタンを押すと流水音が鳴るので、無駄な水を流す回数を減らします。音けし機の近くに効果や使い方、音の消し方を張り出し、協力を促しています。

廃棄物の削減を目的に、**リサイクルペーパーの分別を明確化**し、ごみ箱に張り出しました。

紙使用量の削減目的で、**コピー用紙使用枚数とCO₂吸収量を明確化**し、削減のためのヒントを各コピー機の脇に掲示しました。

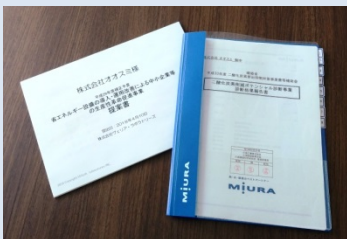


電力使用量の削減を目的に、**空調ファン**を全ての天井空調に設置しました。室内の空気を循環させる事で、直撃の風や温度のムラが解消しました。

電力使用量の削減を目的に、各部屋の**温湿度明確化**のため、**温湿度計**を事務所・分析室内に設置しました。

電力使用量の削減を目的に、**採光ブラインドと遮熱シート**を設置しました。社内全体が明るくなるとともに、光を遮るブラインドに比べ、事務所の奥まで光が届くので昼間は照明をつけない場所が増えました。

東京支店のサーバーを更新したことで、熱の放出が抑制され、空調の**電力使用量の削減**に繋がりました。



CO₂の削減を目的に、第三者機関へ以下を依頼し、問題点を明確化しました。

- ・省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業の検討
(株)ヴェリア・ラボラトリーズ
- ・二酸化炭素削減ポテンシャル診断事業の診断
(三浦工業(株))



SDGs勉強会を実施しています。勉強会では正しくSDGsを理解し、我々の事業と環境・社会との関連付けを行い、SDGsを活用したイノベーションやパートナーシップの構築を目指しています。（「**オオスミのSDGsへの取り組み**」は次頁へ）



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

オオスミのSDGsへの取り組み

私たちは地球のドクター



「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」

をミッションとし、地球環境問題の解決に貢献することを目指しています。

私たちは、SDGsをミッションを果たすための中間指標とし、
全社員で目標を定め、オオスミの強みを活かすことで、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

オオスミの事業を通じたSDGsの貢献

	3 気候変動 への対応	4 質の高い 教育	6 安全な水と 衛生	7 再生可能 エネルギー	8 豊かで 持続可能な 雇用と経済成長	11 持続可能な 都市とコミュニティ	12 持続可能な 消費と生産	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう	17 パートナーシップ による開発
水	○	○	○			○	○	○	○	○
土壌・残土	○	○	○			○	○	○	○	○
大気・空気	○	○	○			○	○			○
放射能	○	○				○				○
PCB	○	○				○	○			○
騒音・振動	○	○				○				○
アスベスト	○	○				○	○			○
材料・製品		○			○		○			○
環境アセス	○	○	○			○		○	○	○
作業環境	○	○			○					○
自然環境	○	○	○			○		○	○	○
工場・建設環境	○	○	○		○	○	○	○		○
地球温暖化対策	○	○		○	○	○	○			○
受託・研究	○	○			○		○			○
環境部長 [®]	○	○			○		○	○		○
ゆあらば [®]		○			○		○			○
環境の健康診断 [®]	○	○					○	○		○



ロゴ・目標	オオスミのサービスとビジョン		
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 放射線量率測定 PCBコンサルティング 騒音・振動調査 アスベスト調査 環境アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 作業環境測定 自然環境調査 工場・建設環境 省エネ調査・対策 海外環境協力 受託・研究 環境部長® 環境の健康診断® 	<p>各種公害系環境保全事業（大気、土壌、水質調査等）を通じて環境の現状、並びに潜在的な汚染の把握を行います。また対策工事の実施により、さらなる環境の改善や汚染の拡大を未然に防ぎます。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種セミナーの開催 		<p>企業や民間向けに各種セミナーや勉強会を開催し、環境面におけるリスク回避や新たな価値の創造を展開していきます。また海外からの技術者を受け入れ、技術指導、技術移転を図ることで、各国における環境改善を促進し、持続可能な社会の構築に貢献していきます。</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 環境アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境調査 工場・建設環境 海外環境協力 	<p>世界中の誰もが安全な飲料水を手に入れることができるよう、工場排水の調査、分析を行うとともに、センサー技術を活用した水質監視システムを構築、展開していきます。また持続可能な水資源の利用を実現するため、水源地を含む一般環境水質の改善に取り組んでいきます。</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ調査・対策 海外環境協力 		<p>事業所の省エネ調査において、設備更新のみならず運用改善等の提案によりエネルギー効率化を推進します。また温暖化ガス削減の観点から、お客様に再生可能エネルギーへの転換も提案し、企業価値向上に貢献していきます。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 材料解析 作業環境測定 工場・建設環境 省エネ調査・対策 	<ul style="list-style-type: none"> 海外環境協力 受託・研究 環境部長® ゆあらば® 	<p>環境部長Rを通じて、事業所における環境法令の順守状況を把握するとともに、さらなる環境負荷低減へ向けてお客様に寄り添い、より一層の企業価値向上のためのサポートを行います。また省エネ調査においては適切な設備運用を提案することで、最大の費用対効果を実現していきます。ゆあらばや材料解析では、お客様の品質、生産効率向上のため、様々な問題解決に向けて専門的立場からアドバイスを行います。労働環境については、特に東南アジアの諸国に対して、作業環境測定を通じて劣悪な作業環境の低減を展開していきます。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 放射線量率測定 PCBコンサルティング 騒音・振動調査 	<ul style="list-style-type: none"> アスベスト調査 環境アセスメント 自然環境調査 工場・建設環境 省エネ調査・対策 海外環境協力 	<p>あらゆる技術を駆使して、レジリエントな社会の構築に貢献していきます。特に環境アセスメントに関しては廃棄物関連、並びに再生可能エネルギー関連の事業に着目し、常に最新の情報や技術を取得することで、お客様の要望に応じてまいります。建設工事や解体で発生した有害物質の含まれた土やPCBなどについても、適切な処理のため提案させていただきます。</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 PCBコンサルティング アスベスト調査 材料解析 	<ul style="list-style-type: none"> 工場・建設環境 省エネ調査・対策 海外環境協力 受託・研究 環境部長® ゆあらば® 環境の健康診断® 	<p>省エネ調査ではエネルギーの効率化と再生可能エネルギーへの転換を促進することで、持続可能な資源管理に貢献していきます。またLCAやSCOPE3の観点からも、様々なご提案をさせていただくことで、廃棄物や温暖化ガスの排出削減に貢献していきます。</p>
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 環境アセスメント 自然環境調査 	<ul style="list-style-type: none"> 工場・建設環境 海外環境協力 環境部長® 環境の健康診断® 	<p>特にマイクロプラスチック問題に着目し、最新の知見と技術に基づく改善提案を行うことで、海洋汚染の低減に貢献していきます。</p>
 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 環境アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境調査 海外環境協力 	<p>生物多様性の確保、持続可能な自然資源の活用という観点から調査、提案をさせていただきます。</p>
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育 各分野における調査、分析、対策工事 		<p>オオスミは「モノ」ではなく「コト」に対して最適な対応を実現するため、多岐にわたる専門分野の会社とパートナーシップを結び、各種課題を解決していきます。</p>

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

「当社の事業そのものが環境改善に寄与する」というモチベーションを維持・継続しており、環境経営システムは有効に機能していると考えが、サービス提供の拡大、紙／水使用量、グリーン購入の推進に関わる施策についての改善・取り組みはまだまだ不十分である。

(2) 見直しの結果

- ①環境配慮サービスの提供拡大については、市況における価格競争が激化し、積極的に案件の獲得を目指したが、目標を下回る結果となった。
- ②紙の使用量については施策を行ったが、目標が達成できなかった。再度、具体的な施策展開する。
- ③電力使用量の削減は多くの施策を行ったため、目標を達成したが、ガソリンの使用量は達成できなかった。結果としては、CO₂排出量は達成したが、今後、要因分析を行い、施策の立案・実行を推し進める。
- ④今後は行動計画を明確にし、達成の指標を具体化していく必要がある。相乗効果をもたらされるよう、各部門の良い成果を全社につなげていく活動を行う。

以上